ガンコ親父のエアコンに乾杯！

「母さん、なんか暑くないか？」と、松次郎はタオルで額の汗を拭いた。「ええ、なんだかクーラーの調子が悪くて」と貴代の顔も曇った。

松次郎の家では三十年以上前からクーラー、いわゆる「冷房専用のエアコン」を使っていた。いまやどこの家庭でも、そんな古いクーラーなどは使っていない。「あなたと同じように頑丈だったし、まさか壊れるとは思わなかったわ」と貴代は言った。ちょうど帰宅した息子の学が口をはさんだ。学は酔っていた。「もう、こんなポンコツ、ポイッと捨てて、今度は冷暖房のエアコンを買いなよ。俺たちの部屋にあるようなヤツをさ」そんな学の声に反応したのか、弱々しい運転音だったのが、急に「ガ～ッ」と断末魔の叫び声をあげたあと、すぐに停止してしまった。

「ほら見ろ、お前が要らんことを言うから、クーラーが怒ったじゃないか」

「オヤジもあんまり怒らんようにしないと、プッツンしてしまうよ。クーラーのように」

学の言葉に、久しぶりに松次郎は怒った。

「こいつ、言わしておけば」と学の首を絞めようとした。「いい加減にしなさい、二人とも。子供じゃあるまいし」と、貴代が大きな声を上げた。

壊れてしまったクーラーは一家の夏の空調を長年支えてくれたやつだ。その年老いたクーラーに、松次郎は同情を寄せないわけにはいかなかった。家族を守るために頑張ってきた姿は、しっかり自分と重なる。それを学のヤツ、なにが「ポイッと捨ててだ」。

翌日、松次郎は幼なじみの電器屋に電話をした。「配線やスイッチの接触不良が原因だったら、直せるんじゃないか？待てよ、三十年もなるのか。じゃあ、もうダメかもな。交換部品もないし」とすぐに希望をかき消した。「まあ、一度見に行くから」と、さっそく新製品のエアコンカタログを手にやってきた。そして、しっかり調べもせずに、クーラーに向かってご臨終とばかりに手を合わせた。

「おいおい、お前もっと調べてくれよ」と松次郎は幼なじみに言った。「松ちゃん、もうこれはポイするしかないな」

「なんや、お前まで」と松次郎は「ポイする」に過激に反応した。激怒して幼なじみの首根っこを押さえようとした時、「いい加減にして！」とまたも貴代の大きな声。松次郎はモノを大切にしない生き方が大嫌いだった。

「もう帰れ」と言って幼なじみにエアコンのカタログを投げ返した。

その夜「しまっちゅ伝蔵」のロックで心を鎮めていると、長男の子供から電話がかかり、お盆におじいちゃん（家）に行くのを楽しみにしていると言った。エアコンがなかったら、孫が暑いだろうな。ふ～、しかたない、許してくれよと言いながら古い大型のクーラーの吹き出し口をそうっとなでた。

台所からその姿を見ていた貴代は、自分の結婚が間違っていなかったことを喜んだ。

「あなた、私にも一杯くれない？ロックで」

「ロックで良いのか？」

「ええ、今夜は水いらずということで」

奄美黒糖焼酎 しまっちゅ伝蔵（でんぞう）

常圧蒸留

900㎖（25度）　1800㎖（25度）　1800㎖（25度）

昔ながらの手造りこだわり焼酎

喜界島の豊沃な大地の恵と豊かな自然の中で、永年の伝統に受け継がれた製法でじっくりと醸しあげた「しまっちゅ伝蔵」黒糖焼酎の味を全面に出し昔ながらのコクのある味と香りです。

2014年春季全国酒類コンクール・黒糖焼酎部門第1位受賞

25度 好評発売中

2009年10月喜界島は「日本で最も美しい村」連合に選ばれ、加盟しました。喜界島酒造㈱は、この活動を応援しています。

the most beautiful villages in japan
喜界町
鹿児島県

くろちゅう
喜界島酒造株式会社
鹿児島県大島郡喜界町赤連2966番地12
☎0997（65）0251

http://www.kurochu.jp　お酒は20歳になってから。お酒は楽しく適量を。飲酒運転は法律で禁止されています。妊娠中や授乳期の飲酒はお控えください。